令和４年度（２０２２）　　年間授業計画　　長野県松本工業高等学校

			作成日： 令和４年　３月２日	
教　科	学　年	科　目　名	単　位　数	処理欄
家　庭	2　年	家　庭　基　礎	2単位（70時間）	※

学習目標	様々な視点から自分の生活を見つめ、主体的に生活の充実・向上を図るための基礎的・基本的な知識と技術を習得する。また、学習を通して自らの価値観を見いだし、生活のあり方を探求しつつ、一人の生活者として考え、行動できる力と態度を育てる。

学　期	学　習　項　目（単元名）	学　習　内　容（ねらい）
１ 学 期 (２２時間)	家庭科を学ぶにあたって 自分らしい人生をつくる 自分らしく生きる	・生涯発達の視点を学び、人は生涯を通して発達する。 ・青年期の課題について学び、自分について考える。 ・将来における自分の人生を考える。 ・自分の生活、人生を見据え、青年期をどう過ごすか考える。
	食生活をつくる	・自分の食生活の問題点について考える。 ・食料自給率や環境問題、食の安全など現代の食生活の現状や問題について考察する。 ・栄養素の種類と働きや、それぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識、食品衛生について学ぶ。 ・調理実習を通して調理に関する基礎的な技術を身につける。
２ 学 期 (２６時間)	衣生活をつくる	・人間と被服のかかわり、及び被服の機能について考える。 ・衣服材料の種類、繊維の種類と特徴について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 ・被服製作実習を通して、繊維製品の構成や基礎的な縫製技術を身につける。
	消費行動を考える	・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法やその解決方法について理解する。
３ 学 期 (２２時間)	経済的に自立する 人とかかわって生きる	・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 ・資源や環境への配慮について考える。 ・労働、家庭生活の意味について考える。 ・現代社会における家族、家庭、こどもや高齢者、社会福祉をめぐる現状と課題などを考える。

評価方法	定期考査や作品の点数に、平常点（出欠、態度、授業プリント、提出物など）を加味して評価する。
留意事項	家庭科は、私たちが「生きること」を学ぶ教科です。みなさんの生活が学習の基盤になります。 ・学習する内容を自分の生活とかかわらせ、より身近な問題として考えてみましょう。 ・自分の生活を科学的にとらえたり、社会とのかかわりをもって見つめてみましょう。 ・学んだ事がすぐに実践できるのも家庭科のおもしろさのひとつです。学んだ事は、ぜひすぐに自分の生活で実践してみよう。

教科書・教材名：　教科書：　「家庭基礎　パートナーシップでつくる未来」　実教出版
資料集：　「生活学Navi　資料＋成分表」　実教出版